

## 平成22年度 福岡市立福岡西陵高等学校経営方針

校長 米丸政文

校訓「誠実・協力・創造」の意義を具現化する思索と実践を通して、一人ひとりの生徒が生き生きとした学校生活を営み、教職員と保護者がそれを支え、市民が期待する学校づくりを目指す。能力を磨き、それを社会に貢献することを自らの生き甲斐とする生き方・在り方を志向する人を育てたい。

### 1. 福岡市の教育の目指す方向 <めざす子ども像>

－新しいふくおかの教育計画－

「公教育の福岡モデル」学校は、次の5つのことに力を入れた教育を行う。

- 1 福岡スタンダード「あいさつ・掃除、自学、立志」
- 2 ことばを大切にする教育
- 3 子どもの力を引き出し発揮させる教育
- 4 小中連携教育
- 5 家庭・地域・企業等と連携した教育活動

### 2. 本校の教育目標

- (1) 広い視野を持ち、国家・社会に貢献する誠実にして有為な人間を育成する。
- (2) 清新の気みなぎる協力・創造の学園を樹立し、心豊かでたくましく生きる人間を育成する。
- (3) 人権・同和教育を推進し、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う。
- (4) 我が国の伝統・文化を尊重するとともに、国際交流をすすめて、国際性豊かな人間を育成する。

### 3. 教育方針

- (1) 学習指導、生徒指導、進路指導を一体的に推進し、自己実現と社会貢献の一致を目指す進路保障に努める。
- (2) 礼節をわきまえ、誠実で責任感と協調性をもち、愛と勤労を尊ぶ精神を涵養する。
- (3) 個性を生かし、自主的自発的な精神で生活を営む態度を養う。
- (4) 人としての生き方・在り方を追究させることを通じて人権尊重の意識を高め、差別をなくす力を育てる。
- (5) コミュニケーション能力を高め、多種多様な情報を適切に収集・処理・発信できる能力を育てるとともに、人として挨拶を基本に相互理解を進めるように指導する。

#### 4. 本年度の重点目標

(1) 生徒の進路に対する目的意識をより明確にさせ、進路実現を図る。

- ① (意識を育てる) ホームルーム指導、教科指導で生徒に進路実現の動機付けを行なう。
- ② (自分を知る) 日常の授業をはじめ様々な機会を捉えて学力の到達状況や伸長度を測り、それを学習指導・進路指導に反映させる。
- ③ (広い視野を持たせる) 大学等の体験講座やオープンキャンパス、各種の検定やコンクールなどに積極的に取り組ませるとともに、適切な進路ガイダンスによって広い視野から進路を決定させる。

(2) 教育環境を整え、教育資源の活用に努める。

- ① (生徒の学習環境を整える) 授業を行うにふさわしい教室環境の整備に努めるとともに、授業の開始・終了にけじめを持たせるなどの授業規律を確立する。
- ② (授業の質を高める) 教師自身の目標設定と自己評価や、生徒による授業評価等を生かして授業改善に努める。

(3) システムとしての教育機能を高める。

- ① (改善指導の確立) 進路・修学保障の観点から、出席改善指導及び風紀改善指導を行い、教育相談機能と連携し、生徒とは勿論、保護者との意思疎通を図って、信頼される指導を確立する。
- ② (特別支援教育の推進) 人権教育・教育相談機能・保健指導に生徒指導・学習指導を加えた組織の充実を図り、教職員の共通理解の上に特別支援教育を推進する。
- ③ (国際理解教育の推進) 研修旅行や姉妹校交流、海外語学研修や短期・長期の留学、外国人留学生受け入れ、外国語に関する諸検定、授業やホームルーム指導等を通して、本校の特色としてふさわしい国際理解教育を推進する。